

■交読 イザヤ書 11章 1～10節

- 1 エッサイの根株（ねかぶ）から新芽が生え、
その根から若枝が出て実を結ぶ。
- 2 その上に主の霊がとどまる。
それは知恵と悟りの霊、
思慮と力の霊、
主を恐れる、知識の霊である。
- 3 この方は主を恐れることを喜びとし、
その目の見るところによってさばかず、
その耳の聞くところによって判決を下さず、
- 4 正義をもって弱い者をさばき、
公正をもって地の貧しい者のために判決を下す。
口のむちで地を打ち、
唇の息で悪しき者を殺す。
- 5 正義がその腰の帯となり、
真実がその胸の帯となる。
- 6 狼は子羊とともに宿り、
豹（ひょう）は子やぎとともに伏し、
子牛、若獅子、肥えた家畜がともにいて、
小さな子どもがこれを追って行く。
- 7 雌牛（めうし）と熊は草をはみ、
その子たちはともに伏し、
獅子も牛のように藁（わら）を食う。
- 8 乳飲み子（ちのみご）はコブラの穴の上で戯れ（たわむれ）、
乳離れ（ちばなれ）した子は、まむしの巢に手を伸ばす。
- 9 わたしの聖なる山のどこにおいても、
これらは害を加えず、滅ぼさない。
主を知ることが、
海をおおう水のように地に満ちるからである。
- 10 その日になると、エッサイの根はもろもろの民の旗として立ち、
国々は彼を求め、彼のとどまるところは栄光に輝く。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 ルカの福音書2章25～38節

- 25 そのとき、エルサレムにシメオンという人がいた。この人は正しい、敬虔な人で、イスラエルが慰められるのを待ち望んでいた。また、聖霊が彼の上におられた。
- 26 そして、主のキリストを見るまでは決して死を見ることはない、聖霊によって告げられていた。
- 27 シメオンが御霊に導かれて宮に入ると、律法の慣習を守るために、両親が幼子イエスを連れて入って来た。
- 28 シメオンは幼子を腕に抱き、神をほめたたえて言った。
- 29 「主よ。今こそあなたは、おことばどおり、しもべを安らかに去らせてくださいます。
- 30 私の目があなたの御救いを見たからです。
- 31 あなたが万民の前に備えられた救いを。
- 32 異邦人を照らす啓示の光、御民イスラエルの栄光を。」
- 33 父と母は、幼子について語られる様々なことに驚いた。
- 34 シメオンは両親を祝福し、母マリアに言った。「ご覧なさい。この子は、イスラエルの多くの人が倒れたり立ち上がったるために定められ、また、人々の反対にあうしるしとして定められています。
- 35 あなた自身の心さえも、剣が刺し貫くことになります。それは多くの人の心のうちの思いが、あらわになるためです。」
- 36 また、アシェル族のベヌエルの娘で、アンナという女預言者がいた。この人は非常に年をとっていた。処女の時代の後、七年間夫とともに暮らしたが、
- 37 やもめとなり、八十四歳になっていた。彼女は宮を離れず、断食と祈りをもって、夜も昼も神に仕えていた。
- 38 ちょうどそのとき彼女も近寄って来て、神に感謝をささげ、エルサレムの贖いを待ち望んでいたすべての人に、この幼子のことを語った。

■あらのはてに（新聖歌78）

- ①あら野のはてに 夕日は落ちて たえなるしらべ 天（あめ）より響く
グローリヤ イン エクセルシス デオ
グローリヤ イン エクセルシス デオ
- ②羊を守る 野べの牧人（まきびと） 天（あめ）なる歌を 喜び聞きぬ
グローリヤ イン エクセルシス デオ
グローリヤ イン エクセルシス デオ

■頌栄 聖歌376「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・ 招詞 招詞を読みます
- ・ 賛美 歌います
- ・ 主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・ 交読 交読箇所を読みます
- ・ 礼拝祈祷 次の言葉を祈りましょう
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心を一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・ 使徒信条 使徒信条を告白します
- ・ 聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・ 説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・ 賛美 歌います
- ・ 献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・ 頌栄 頌栄をささげます
- ・ 祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上にとこしえにありますように アーメン」